

何となく分かった気

美咲町教育委員会教育長

黒瀬 堅志かたし



最近、私にはやたらと英語の略称が気になる。「なんでだろう♪」と思う。

教育界でも、目につく。中には、尋ねてみると学校独自で考えた3〜4文字のアルファベットもある。みんな知っているのだろうか？そんなことも知らないのかと思われるのかもしれない。ついでに「時代遅れの男になりたい♪」ではなく、なりたくないために、つい遠慮して我慢をする。ある芸能人は、言いたいことを日本語のフレーズの頭文字を取ってアルファベットで表現する。いいじは心配しているのだ、分かった振りをして見過ごすことを。この本質、真贋しんかん、影響を何となく勝手に解釈してその気になることを。

アルファベットの何文字かを見ると、それが世の中の最新の動きや動向と勘違いしてほしくないのだ。テレビや広告等のマスメディアで、国民や人々に訴えたり、その商品を買ってもらうために関心を引くためのキャッチフレーズみたいな標語は、それはそれで、そ

れぞれの目的のために、それぞれが努力しているのだから、いいじは文句を言う気はない。「笑って許してほしい♪」のだ。

分かったつもりで、本当は分かっていないことを子どもに軽く教えて後悔したくないのだ。自分なりに一度、反芻はんそう、咀嚼そしゃく（指導計画案作成）をして話をしては、といいじは自分ができないのに思う。

何気ない一言、メッセージが負の形で子どもたちに伝わり、その気にさせることもあることを。

最近、いいじの孫は、「いいじ、今の学校はブラック企業と言われているの？」と尋ねる。びつくりポイント。晩酌が一気にまぶくなった。教師の職にプライドを持っている教職員の皆さん、「北風と太陽」に対応しながら頑張ろうではないか。

教師の学校での姿、教える姿を見て、「私も将来あんな先生になりたい」と思われる教師志望の子どもの多いことを「IB」だ。「祈るばかり」だ。

